

平成28年度 自己評価計画書

							石川県立宝達高等学校	
重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評価の観点	達成度判断基準	判定基準	備考	
1	分かる授業を 実践すること によって、基 礎学力の定着 と思考力・判 断力・表現力 の育成を図 り、キャリア 教育の実践と 3年間の進路 指導態勢の充 実を図り、進 路志望100% 実現を目指 す。 ・ICTや学び 直しの効果的 な活用と評価 及びアクティ ブ・ラーニン グの充実を図 り、生徒の学 ぶ意欲を喚起 する。 ・学習規律を 遵守させる指 導を徹底し、 学習習慣の確 立を組織的に 指導する。	各教科 教務課	朝学習で基本事項の学習 をしたり、授業の中でも 学び直しの内容を積極的 に指導している。また、 石川県指定の「地域交流 による高等学校活性化事 業」で作成した国語・数 学・英語の学び直し教材 を活用している。	【努力指標】 学び直し教材の 効果的な活用を 図る。	学び直しのための教材を作成し、 活用した教員の割合が A：100% B：95% 以上 C：90% 以上 D：90% 未満	C，Dの 場合、取 組につい て検討す る。	7月・12月 に調査 (職員アン ケート)	
			常設プロジェクターの 他、手持ちのプロジェク ターも活用して、ICTの 利便性を図っており、そ れを活用して授業を行う 教員が増えている。	【努力指標】 ICTの効果的な 活用を図る。	職員がICTを年間に活用した回数 が一人平均で A：70回 以上 B：60回 以上 C：50回 以上 D：50回 未満 ICTの活用により、学習意欲が高 まったと感じている生徒の割合が A：70% 以上 B：60% 以上 C：50% 以上 D：50% 未満			
			「学びの4か条」や学習規律の 遵守に努め、主体的に授業に取り 組む態度の定着を図る。	【成果指標】 授業で学習規律 の確立を図って いる。	学習規律を守っている生徒の割合 が A：95% 以上 B：85% 以上 C：80% 以上 D：80% 未満			
			グループ活動等を通し て、「話す」「発表する」 などアクティブ・ラー ニング型の授業を取り入れ ることにより、思考力・ 判断力・表現力の育成を 図る必要がある。	【努力指標】 生徒に発表等の 主体的に活動す る機会を与えて いる。	アクティブ・ラーニング型の授業 を取り入れている教員の割合が A：90% 以上 B：80% 以上 C：70% 以上 D：70% 未満			

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評価の観点	達成度判断基準	判定基準	備考
1	全校で取り組んでいる家庭学習教材の点検や授業で使用する課題プリント、週末課題等を生徒に提供し、計画的に学習に取り組ませる。	各教科 教務課 各学年	昨年度は平日 60 分以上 45.8%、休日 120 分以上 20.9%であり、増加傾向にある。しかし、個々の生徒の進路実現には不十分な現状であるため、組織的な取組を継続する。	【成果指標】 平日 60 分以上、休日 120 分以上の学習時間を確保するよう働きかける。	家庭学習時間が平日 60 分以上、休日 120 分以上の生徒の割合が A：70% 以上 B：60% 以上 C：50% 以上 D：50% 未満	C、D の場合 取組について検討する。	7 月・12 月に調査 (生徒アンケート)
	上級学校理解・職業理解などを通じて、生徒の進路意識を向上させ、早期に進路目標を設定することができるよう指導し、目標とする進路実現のために学習に主体的に取り組むよう、各学年のキャリア教育を段階的・系統的に関連付けて実施する。	進路指 導課 各学年	進路実現のために、基礎学力の底上げに継続的に取り組み、「卒業生と語る会」、各学年「進路ガイダンス」(就職・進学)、1 年「企業・大学見学」、2・3 年「インターンシップ」などを実施し、生徒の進路意識を高める取り組みを学年段階に応じて適切に行う必要がある。	【満足度指標】 生徒が各学年のキャリア学習が、上級学校理解・職業理解などを通じて進路選択に役立っていると感じる。	各学年のキャリア学習が進路選択に役立っていると感じる生徒の割合が A：85% 以上 B：75% 以上 C：65% 以上 D：65% 未満	C、D の場合、取組について検討する。	7 月・12 月に調査 (生徒アンケート)
	ホーム担任が、卒業後の進路に対する個々の生徒の思いや情報が把握できる面談シートを活用し、個人面談を適時適切に行うよう努め、進路意識の向上と進路実現を目指す。	進路指 導課 各学年	個人面談が進路意識の深まりや進路学習に効果があつたとする生徒の割合が向上するように、面談を質・量ともに充実させ、生徒の学習状況・家庭状況を的確に把握し、進路決定や悩みの解消に努める必要がある。	【満足度指標】 個人面談が進路意識の深まりやキャリア学習への取組に役立つようにする。	個人面談が進路意識の深まりやキャリア学習への取組に効果があつたとする生徒の割合が A：80% 以上 B：70% 以上 C：60% 以上 D：60% 未満	C、D の場合 個人面談のあり方を検討する。	7 月・12 月に調査 (生徒アンケート)
	進路ガイダンス、模擬試験、補習、小論文、面接指導などの系統的・段階的な取組を実施し、生徒の進路志望 100% 実現を目指す。	進路指 導課 各学年	昨年度は、就職・進学とともに進路実現 100% が達成された。大学志望者のうち国公立大に 1 名合格し、成果を上げた。教材を精選し、全体指導や個別指導等のきめ細かい指導を継続的・効果的に取り入れ、今年度も進路実現 100% を目指していく。	【成果指標】 生徒の進路志望が就職・進学とも実現できた。	生徒の進路志望の実現率が A：就職・進学の進路実現 100% 国公立大合格者 2 名以上 B：就職・進学の進路実現 100% 国公立大合格者 1 名 C：就職・進学の進路実現 100% 国公立大合格者なし D：就職・進学の進路実現 100% 未 国公立大合格者なし 満	C、D の場合 指導法の改善に努める。	12 月・年度末に集計 (進路指導課)

重点目標		具体的取組	主担当	現 状	評価の観点	達成度判断基準	判定基準	備考
2	生徒は、基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚に努め、挨拶の励行と社会人としてのマナーやコミュニケーション能力を身に付けさせ、自ら考え、行動する自主自律の精神を持った社会人の資質を培う。	登下校指導を行い、教師が積極的に挨拶を交わし、全校挙げて生徒によるあいさつ運動の充実を図るとともに、身だしなみ（端正な制服の着こなしと頭髪）を守ることによって、社会人の一員としての自覚を促す。	生徒指導課 各学年	挨拶を交わし、言葉遣いに注意している生徒は、昨年度は68%で、積極的に大きな声で挨拶ができるよう取組の工夫が求められる。社会人としてのマナーや規範意識の高揚につながるよう、毎月の服装・頭髪検査で指導の徹底が求められる。	【成果指標】 挨拶の励行や身だしなみがきちんとしている。	生徒同士や職員、外部の来客や地域の方々に対し、自分から進んで挨拶ができ、服装・頭髪の身だしなみがきちんとしていると答えた生徒の割合が A：95% 以上 B：85% 以上 C：80% 以上 D：80% 未満	C、Dの場合 取組について検討する。	7月・12月に調査 (職員・生徒アンケート)
		全教職員が協働して、遅刻ゼロ運動を進める。 ・各学年の1日の平均遅刻人数を毎月集計する。 ・遅刻が0の日には、生徒玄関の掲示板や校内放送を使って報告し、生徒の意欲を高める。 ・個別面談等を行い、時間を守ることの意義や大切さを自覚させる。	生徒指導課 各学年	遅刻者が減少するように、生活習慣の改善を促しながら継続的な指導をしてきた結果、昨年度の、1日の平均遅刻者数は 1学年 5.7人 2学年 2.8人 3学年 3.9人 であった。保護者との連携を図りながら、全職員で組織的に指導する必要がある。	【成果指標】 1日の平均遅刻人数が減っている。	1日の平均遅刻者数指標 1学年 4人以内 2学年 3人以内 3学年 2人以内 1日の平均遅刻者数の達成率が A：各学年とも目標を達成した B：2つの学年が達成した C：1つの学年が達成した D：全学年が達成できなかった	C、Dの場合 取組について検討する。	7月・12月に集計 (生徒指導課)
		個々の生徒に応じたきめ細かな面談と面談週間(6・10月)を通じ、ホーム担任、教科担当、部活動顧問やスクールカウンセラー等との連携により、学習や学校生活等の支援体制の充実を図る。	厚生課 各学年	さまざまな悩みを抱える生徒に対して、スクールカウンセラー、地域サポート教員等との連携を一層充実させ、積極的な支援が必要である。	【満足度指標】 校内支援体制が満足できるものになるよう働きかける。	生徒の悩みに先生が相談に応じてくれていると答えた生徒の割合が A：80% 以上 B：70% 以上 C：60% 以上 D：60% 未満	C、Dの場合 取組について検討する。	7月・12月に調査 (生徒アンケート)
3	生徒と積極的にかかわりを持ち、部活動の一層の活性化・充実を図る。	生徒会執行部や各種委員会、学級において、生徒一人ひとりが自らの役割を理解し、積極的に活動できるよう指導する。	生徒会課 各学年	各種委員会や学級などにおける生徒の仕事内容に対して、教員間で十分共通理解を図り、的確な指導をする必要がある。	【満足度指標】 所属する委員会や係の役割を理解し、活動に取り組むことができた。	所属する係の仕事を理解し、活動することができたという生徒の割合が A：80% 以上 B：70% 以上 C：60% 以上 D：60% 未満	C、Dの場合 指導のあり方について検討する。	7月・12月に調査 (生徒アンケート)

重点目標		具体的取組	主担当	現 状	評価の観点	達成度判断基準	判定基準	備考
3	学校行事、生徒会活動、部活動、地域への貢献活動やボランティア活動で、生徒の自主性や参加意欲、成就感を育てるとともに、宝達高生としての母校への帰属意識や自己有用感の涵養に努め、人間性や社会性を磨く。	生徒会と連携し、清掃の大切さを呼びかけ、平常清掃への積極的な参加を促す。また、環境整備委員等の働きかけによる美化コンクールを通じ、環境美化への意識を高める。	生徒会課 厚生課	昨年度は「進んで清掃活動に取り組んでいる」生徒の割合は 80.7%であった。今年度は、環境整備委員による清掃時の呼びかけや掃除指導の機会を増やし、各生徒がより清掃活動の必要性を理解し、自主的に取り組めるよう働きかけていきたい。	【成果指標】 役割分担をし、協力して清掃活動に取り組む姿勢を培う。	役割分担をし、協力して清掃活動に取り組んでいる生徒の割合が A : 90% B : 85% 以上 C : 80% 以上 D : 80% 未満	C, Dの場合 取組について検討する。	7月・12月に調査 (生徒アンケート)
		部活動の組織的運営を図り、積極的に部活動に加入し、年間を通して継続的に取り組むことができるよう指導する。	生徒会課 各学年	年度当初は全員部活動に加入するが、後半には部活動に消極的な生徒が増えてくる。年度途中で退部してしまう生徒への指導に努めることにより、積極的な部活動への加入の取組を促す必要がある。	【成果指標】 継続的に部活動に取り組む姿勢を培う。	年間を通して部活動に加入して部活動を行っている生徒の割合が A : 95% B : 90% 以上 C : 85% 以上 D : 80% 未満	C, Dの場合 指導のあり方を検討する。	7月・12月に集計 (生徒会課)
		生徒会や部単位での活動を主として、宝達・敷浪・免田駅周辺の清掃活動をはじめ、地域への貢献活動やボランティア活動に積極的に取り組むことにより、生徒の成長を促す。	生徒会課 各学年	生徒は、地域への貢献活動やボランティア活動に対する意識が高いとは言えず、一部の生徒の活動になっている。年々活動は盛んになりつつあるが、ボランティア活動に対する地域貢献の意識の高揚を図ることが求められる。	【成果指標】 地域への貢献活動やボランティア活動に取り組む姿勢を培う。	地域への貢献活動やボランティア活動に取り組んだと答えた生徒の割合が A : 80% 以上 B : 70% 以上 C : 60% 以上 D : 60% 未満	C, Dの場合 指導のあり方を検討する。	7月・12月に集計 (生徒会課)

重点目標		具体的取組	主担当	現 状	評価の観点	達成度判断基準	判定基準	備考
4	積極的に保護者や地域に本校の良さや成果等の情報、提案等を発信するとともに、小・中学校との連携を一層密にし、保護者や地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。	学校からの配付物を保護者に渡す指導を今後も徹底すると同時に、メール配信システムを有効に活用することで、配付物を含めた学校情報を確実に保護者に届ける。	総務課 各学年	配付物を保護者に届けた生徒の割合と、学校情報を知ることができた保護者の割合は、それぞれ70%後半であった。昨年度より導入した保護者・生徒によるメール配信登録者割合を更に高めて活用し、開かれた学校づくりに積極的に取り組みたい。	【満足度指標】 学校情報が保護者にきちんと届くように働きかける。	配付物を保護者に届けた生徒の割合と、学校情報を知ることができた保護者の割合は、それぞれが A：85% 以上 B：80% 以上 C：75% 以上 D：75% 未満	C、Dの場合 指導のあり方を検討する。	7月・12月に調査 (保護者・生徒アンケート)
		情報提供は、文書やHPの更新を通して、きめ細かく発信するとともに、学校からの情報提供への保護者の満足度を高める。また、地域や中学校等への情報発信に努め、本校の良さを伝えることで、生徒募集に資するように努める。	総務課 各学年	「宝高だより」や「宝高タイムズ」(中学生対象)などの学校だよりの発行回数はすでに20回を超えており、学校行事を中心としたHP更新は、全ての行事を記事にしている。今年は、本校の情報発信の保護者満足度を充実させたい。	【満足度指標】 学校からの情報提供が保護者にとって、満足できるようなものになるよう取り組む。	学校からの情報提供が満足であったという保護者の割合が A：80% 以上 B：70% 以上 C：50% 以上 D：50% 未満	C、Dの場合 取組について検討する。	7月・12月に集計 (総務課)